

春漁情報第1報

平成30年2月2日

宮城県水産技術総合センター環境資源部

TEL:0225-24-0139

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>

コウナゴ漁期前調査情報

平成30年1月30-31日にボンゴネットの中層曳きにより実施したコウナゴ分布状況についてお知らせします。今年の1月下旬のコウナゴ分布状況は、0.160尾/m³となり、昨年比(0.532尾/m³)30%でした。過去10年(2008-2017)の平均値(3.07尾/m³)と比較してもかなり低くなっています。一昨年、昨年同様に仙台湾の沖合にはほとんど分布せず、岸よりの仙台湾沖～関上沖にのみ比較的濃い分布密度がみられました(図1)。過去のコウナゴ分布密度と火光利用敷網(ランプ網)の関係から、今シーズンの漁獲量を予測したところ、1,360トンとなり、昨年(2,830トン、宮城県新総合水産行政情報システム集計値)の約半分となる予測です(図2, 図3)。コウナゴの体長は4~19mmの範囲となっており、バラツキが大きくなっています。平均体長は11.5mmとなり、過去2カ年よりも大きくなっています(図4)。

次回のコウナゴ漁期前調査は3月上旬に実施予定です。

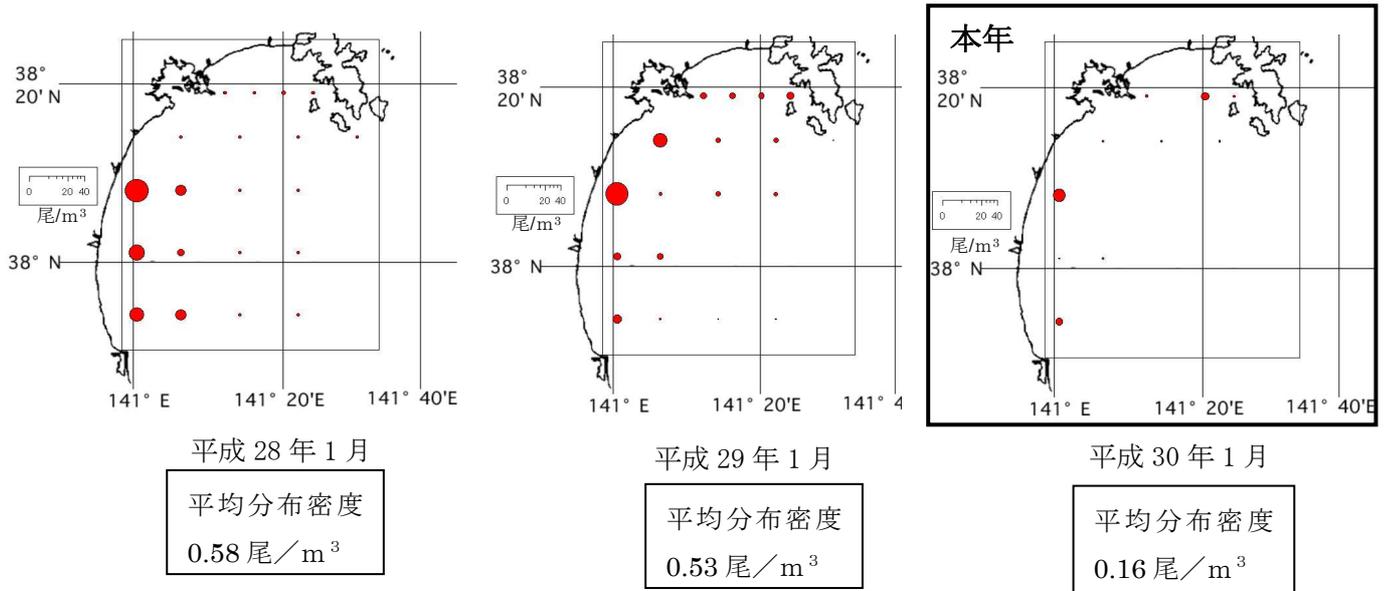


図1 コウナゴ分布密度

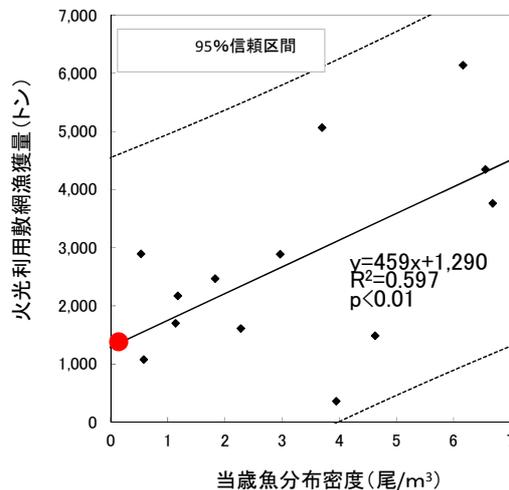


図2 当歳魚分布密度と火光利用敷網漁獲量の関係

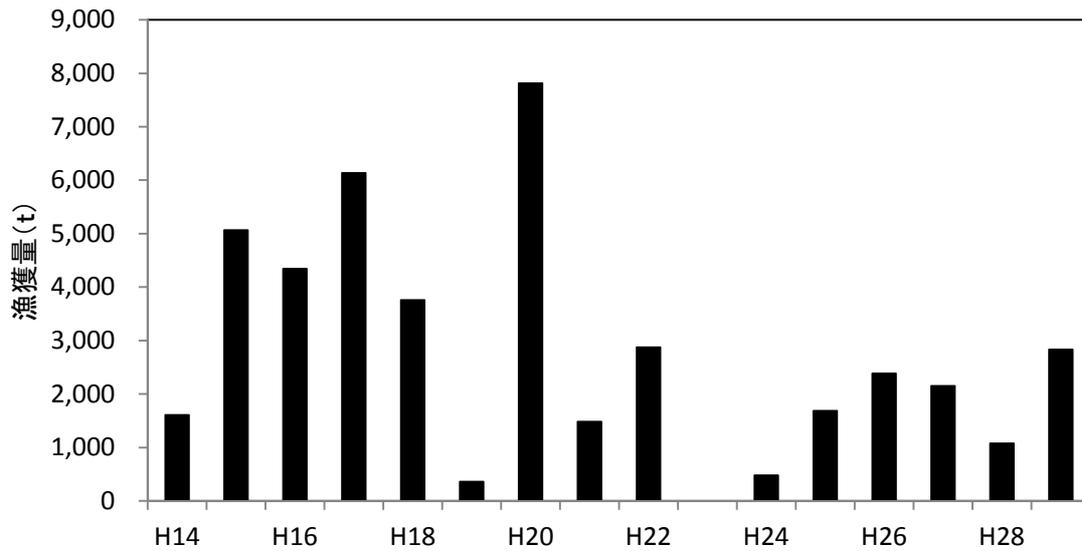


図3 火光利用敷網（ランプ網）のコウナゴ漁獲量の推移
 （平成23年は東日本大震災の影響により水揚げ無し）

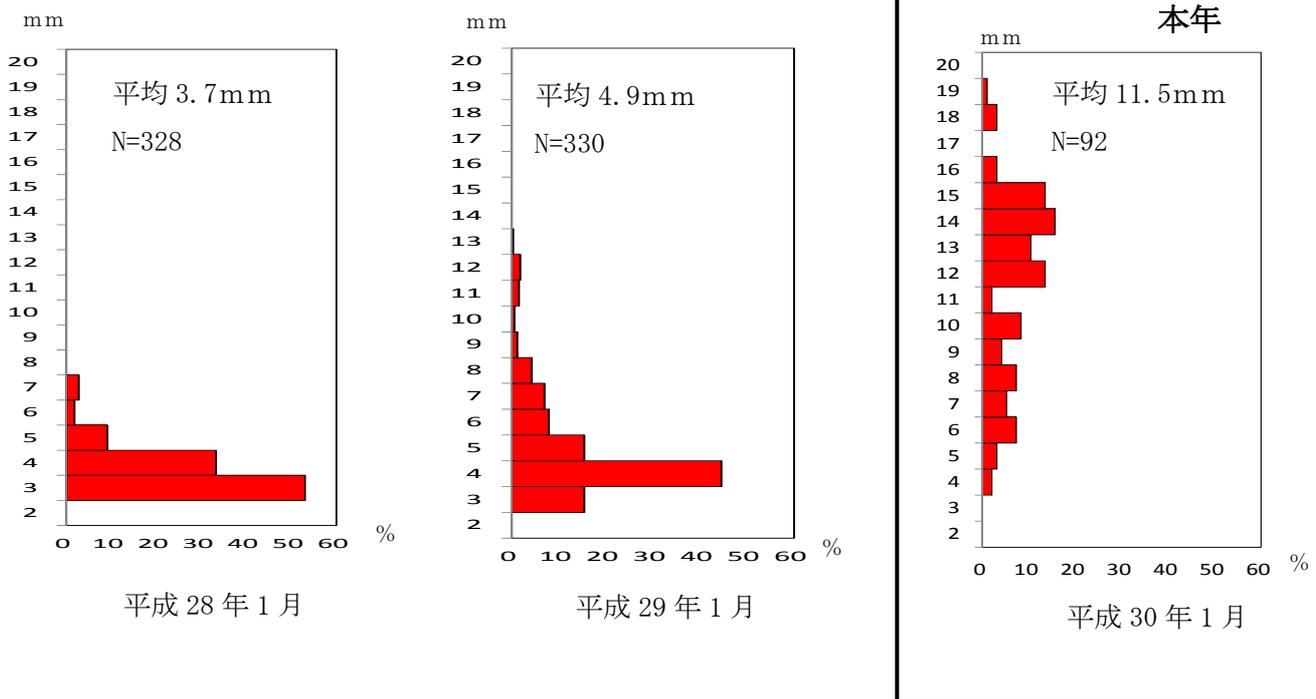


図4 コウナゴ体長組成